

# ICTを活用した事業イメージ (案)

## 課題

(第5回検討会議中間とりまとめより抜粋)

情報通信にかかる環境整備が不十分

案内表示や情報発信等における多言語対応が不十分

観光案内機能が不十分

外国語対応のできる人材が不足

飲食店における外国人観光客に対する対応が不十分

医療機関、災害・事故等に関する情報の発信

課題解決

## ICTを活用した事業イメージ

4. 多言語メニュー・案内表示作成支援

5. 災害・病院等緊急情報ポータルサイト

3. 多言語コールセンター

2. QRコード等による多言語案内表示

1. 大阪府全域のWi-Fi整備

観光客

観光・宿泊施設等

## ICT活用事業イメージ及び参考事例 (実施団体名、名称、概要)

### 1. 大阪府全域のWi-Fi整備

府内全域でインターネットサービスを活用できるようWi-Fi環境を整備し、ICT活用による観光サービスの提供の環境を整える。

総務省

観光・防災Wi-Fiステーション整備事業

観光拠点及び防災拠点(※)における公衆無線LAN環境の整備を行う地方公共団体等に対し、その事業費の一部を補助。

### 2. QRコード等による多言語案内表示の整備

QRコード等を活用し、街なかの案内表示の多言語化を図り、外国人の個人旅行でも移動しやすい環境を整える。

三重県伊勢市

かざすCITY伊勢 (AR観光アプリ)

AR (Augmented Reality 拡張現実) 機能を使用して地域の観光情報やイベント情報を取得できる多言語対応のアプリ。アプリをダウンロードし、スマートフォンを風景にかざすだけで、周辺にある観光・飲食店情報等をスマートフォン内の現実映像の上に重ね合わせ、それらの情報の詳細案内やルート案内、スポットナビを行い、来街者の誘客と回遊性の向上させる。

新関西国際空港(株)

QR Translator (多言語案内表示)

観光案内看板などに表示されているQRコードをスマートフォンなどの端末で読取り、得られたURLにアクセスすることによって該当する説明が端末使用者の利用言語で取得できるサービス。

(株)ヤマハ、NICT

おもてなしガイドアプリ

日本語のアナウンス音声の翻訳情報・文字情報を、スマートフォンからリアルタイムで確認できるアプリ。

### 3. 多言語コールセンターの設置

府内観光施設、宿泊施設等が、外国人観光客からの問合せなどがあつた際に利用できる電話等による通訳サービスを提供。

京都市、奈良県

24時間多言語コールセンター

宿泊施設・交通機関と外国人観光客との24時間電話通訳サービス(日本語、英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語)。

### 4. 多言語化支援

府内観光施設、飲食店等に対し、展示紹介やメニューなどを多言語化の支援システムを造成。

東京都

外国語メニュー作成支援ウェブサイト

飲食店等による外国語メニュー作成を支援。

### 5. 災害・病院等の緊急情報ポータルサイト

災害情報、病院情報等緊急時の情報を集約したポータルサイトを造成し、観光客にとって安全安心な環境を整える。

観光庁

外国人旅行者向けプッシュ型情報発信アプリ「Safety tips」

日本国内における緊急地震速報及び津波警報を英語で通知するプッシュ型情報発信アプリ。避難行動を英語で示した避難フローチャートや周りの人から情報を取るためコミュニケーションカード、災害時に必要な情報を収集できるHPリンク集などの様々な機能がある。